

5月の気温は平年並か高い見込み

健苗移植ときめ細かい水管理で初期生育確保を！

一発除草剤使用前後の水交換で土壌還元（田ワキ）を予防！

1 今後の気象予報（仙台湾気象台 5/1発表）

東北地方日本海側：向こう1か月（5/3～6/2）は暖かい空気に覆われやすいため、気温は平年並か高い見込みです。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

2 田植え前後の管理 ～健苗+田植え後の丁寧な水管理 ⇒初期生育確保！

上旬

田植えまでの育苗管理

生育ステージ	温度の目安	
	昼間	夜間
硬化期 1.5葉期～	20～25℃	8℃以上
移植1週間前～	昼夜ともハウスを開放し、外気に慣らす	

- ・育苗後半は苗の蒸散量も多くなるため、特に晴天時は朝のうちにたっぷりがん水しましょう。

田植え

良いスタートダッシュを切るための田植え

- ・適期は 5月10日～15日頃（気温が15℃、水温が12～13℃を超えて安定する頃）です。「つや姫」は5月20日、「雪若丸」は5月25日までには終わるようにしましょう。なお、低温や強風の日を避けて、天気の良い日を選んで行いましょう
- ・栽植密度は 70株/坪、株当たり4～5本、植付深3cmを目安に行いましょう。
※極端な疎植栽培や深植えは、茎数不足につながります。

田植え後

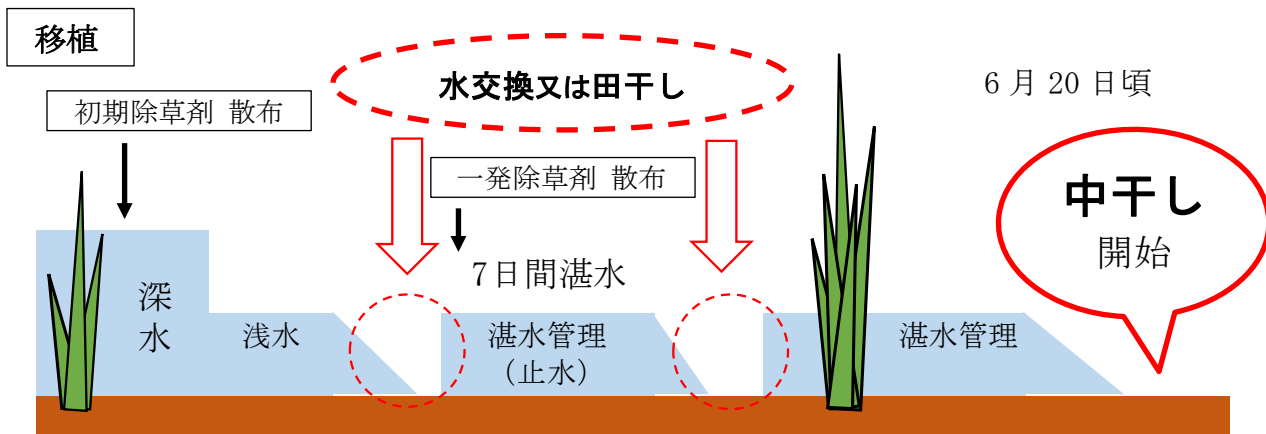
初期生育を安定させるための水管理

- ・田植え直後は 4～5cm（深水管理で苗の消耗を防ぎ、新根の発生を促す）
活着後は 2～3cm（浅水管理で水温を高めるとともに、夕方又は早朝に入水して水温の日較差をつけ、分げつ発生を促進する）
※強風や低温時は深水管理とし、稲体を保護しましょう。

初期生育
確保！

今年は4月の降水量が多く圃場が乾いていないことから、乾土効果は平年より少ない見込みで、また土壌還元（田ワキ）の発生が早まったり、程度が強くなることが予想されます。健苗移植と田植え後の丁寧な水管理で、速やかな活着→初期生育の確保につなげましょう！

3 ワキ対策&除草効果を高める水管理 ～メリハリのある水管理を！



☑除草剤散布の際は、剤型に応じた水深を確保しましょう。

粒剤、フロアブル剤：3～5cm ジャンボ剤、豆つぶ剤：5～6cm

☑一発処理除草剤 使用前：水交換を必ず行い、ワキを解消してから使用しましょう！

☑一発処理除草剤 使用后：7日間は止水とし、除草効果を高めましょう！

☑一発処理除草剤使用后（止水後）は、田ワキ対策のため水交換や田干し等を1回以上行い、分げつの発生と根の健全化を図りましょう！

【田ワキの発生】

- ・土壌還元（田ワキ）は湛水条件下で発生し、高温・多照により助長されます。5月下旬～6月上旬頃は好天で推移する傾向にあるためワキの程度が強まります。さらに、稲わらの腐熟（分解）が不十分な圃場では、より一層ワキの程度は強まります。



ワキの程度		対策
水田に足を踏み込むと	気泡の発生が多い	水交換
	盛んに気泡が発生する	夜間落水
晴天時自然に気泡が発生し、音が聞こえる		田干し

ワキ対策が不十分だと、イネの根がダメージを受け養水分（窒素など）を吸収できず、「分げつが増えない」「葉色が薄くなる」など、生育停滞につながります。急遽追肥を実施しても、根が健全でなければ窒素を吸収できません。まずはワキ対策を最優先に実施し、根の健全化を図ることで窒素吸収量を増やし、初期生育確保につなげましょう！

酒田普及課 LINE

生育診断圃の生育調査結果
タイムリーに受け取れます！

「友だち追加」お願いします！



↑友だち追加
こちら

スマートつや姫
使ってみましょう！



↑HPこちら

「はえぬき」「雪若丸」でも
活用できる機能が充実！

～詳しくは JA 又は酒田農業技術普及課へ～

STOP！ 農作業事故

春季農作業事故防止運動強化期間 4/1～6/10